

私の好きな  
民藝 みんげい

はじめに

# 民芸は心地いい暮らしをはじめめるためのナビゲーター

鞍田 崇くらた たかし

「自分の暮らしを、自分にとって心地いいものにしよう」。

そんな気運が、近年、高まっています。生活雑貨の店やライフスタイルショップが台頭していることも、その表れ。「みんながブランドのバッグを持つ」といったような、だれかに押しつけられた価値観に流され、そういう消費で暮らしを埋め尽くすことに対して、「そうじゃないよね？」との違和感が、じわじわと広がってきたのです。「自分の暮らしを自分の手に取り戻したい」と、多くの人が感じているのだと思います。

そんな流れから、再び、民芸に脚光があたっています。民芸は、日常の暮らしを大切に心豊かに暮らすということに、正面から網羅的に取り組みました。

懐が深く、さまざまなアプローチができることも、民芸が多くの人を惹きつける理由でしょう。例えば、トレンド発信という首都圏からが多くなりがちですが、日本全国あちこちに民芸と関わる場所があり、自分たちの地元こそ、すてきなものがある、そう気がつくことができるのも魅力です。

また、ジャンルもさまざまです。デザイン性の高いシャープなものから、農閑期のおじいちゃんが作るような、素朴な雰囲気のもの

まで。素材も、陶、ガラス、鉄、木、布と幅広く、いろいろなものが含まれています。

そのうえ、柳宗悦やなぎむねよしという、卓越した思想家が、伝統や地域性のあるものすばらしさや、暮らしに美を見出す意義について、しっかりと語ってくれています。おかげで、きっかけはひとつの「もの」だったとしても、興味の幅を、さらに広げることができます。単に焼き物が好きだと思っていた人に、ほかの素材の魅力が伝えたり、ものだけに興味を持っていた人に、地域への関心を引き起こしたりという具合です。

「民芸」という言葉は、さまざまな捉え方をされ、「これは民芸だけれど、こっちは違う」などという話になりがちです。でも、シンプルに、「私の暮らしにこんなのがあったらいいな」というところからいいと思います。とはいえ、通常の工業製品とは一線を画すものであることは事実。民芸には、地域性があり、伝統があり、作っている人たちへのリスペクトがあることがポイントでしょう。

今回の番組では、7つの地域で作り手や配り手（販売者）を訪ねます。この旅を通して、ぬくもりがあり、マジメでかわいい民芸の魅力に触れてみませんか？暮らしを楽しく、心地よくするためのナビゲーターに、民芸がきつと変わってくれます。

「民芸」案内人

鞍田 崇

（明治大学准教授）



哲学者。1970年兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。現在、明治大学理工学部准教授。近年は、ローカルスタンダードとインティマシーという視点から、現代社会の思想状況を問う。著作に『民芸のインティマシー「いとおいさ」をデザインする』（明治大学出版会 2015）など。  
<http://takashikurata.com>

旅人たち

藤井フミヤ

（歌手）



日常使いの道具を、誇りを持って作る職人さんたち。彼らの手仕事の技と心に、じかに触れてみたい。

ロバートキャンベル

（国文学研究資料館長）



シンプルだから飽きない。何年も使ううちに味が出る。そんな、民衆の中から生まれた温かさを実感できる旅にしたい。

平松洋子

（作家）



撮影 牧田健太郎

民芸の道具は、その土地の気候風土から生まれるもの。土、木、水、人が「自ずから求める形」があるはず。そのことを確かめたい。

知花くらら

（モデル・女優）



私の故郷、沖縄には「ていーあんだー（手の脂）の温かさ」という言葉がある。旅で出会う職人さんの手仕事のぬくもりを、感じたい。

民芸のある暮らし

平井かずみ

（フラワースタイリスト）

ゲスト・ワタナベマキ

（料理研究家）

# 私の好きな民藝 目次

はじめに 民芸は心地いい暮らしをはじめめるためのナビゲーター…………… 2

第1回 盛岡／南部鉄器…………… 18  
放送 4月3日(火) Eテレ/再放送 4月10日(火) Eテレ

第2回 奥会津／かご・ざる…………… 30  
放送 4月10日(火) Eテレ/再放送 4月17日(火) Eテレ

第3回 松本／家具・木工…………… 40  
放送 4月17日(火) Eテレ/再放送 4月24日(火) Eテレ

第4回 高山／ガラス・漆器…………… 54  
放送 4月24日(火) Eテレ/再放送 5月1日(火) Eテレ

第5回 鳥取／焼き物(岩井窯、因州・中井窯ほか)…………… 72  
放送 5月1日(火) Eテレ/再放送 5月8日(火) Eテレ

第6回 島根／焼き物(出西窯・湯町窯ほか)…………… 84  
放送 5月8日(火) Eテレ/再放送 5月15日(火) Eテレ

第7回 沖縄Ⅰ／喜如嘉の芭蕉布…………… 102  
放送 5月15日(火) Eテレ/再放送 5月22日(火) Eテレ

第8回 沖縄Ⅱ／読谷山焼・琉球ガラス…………… 102  
放送 5月22日(火) Eテレ/再放送 5月29日(火) Eテレ

第9回 総集編……………  
※テキストには放送内容の掲載はありません。  
放送 5月29日(火) Eテレ/再放送 6月5日(火) Eテレ

## 各回ミニコーナー

「民芸のある暮らし」  
民芸の道具を使い、花のしつらいを中心に、暮らしを彩るモダンライフのアイデアを提案します。

## テキスト企画

平井かずみさんといっしょに民芸を楽しむ…………… 6

ところで、「民芸」って、なんですか?…………… 66

私の好きな民芸 取材先のみなさんの場合…………… 96

三者二様 民芸のある暮らし…………… 122

全国民芸館案内…………… 136

全国民芸店案内…………… 139

インフォメーション…………… 143

2018年4月 - 5月

●放送 Eテレ/毎週火曜日  
午後 9:30-9:55

●再放送 Eテレ/翌週火曜日  
午前 11:30-11:55

### 総合テレビの放送予定

2018年4月4日(水)-5月30日(水)  
毎週水曜日 午前 10:15-10:40

※国会中継などで休止の場合は、  
Eテレの再放送をご覧ください。

放送日時・再放送など番組に関する情報は  
NHKウェブサイト「NHKオンライン」でも見るこ  
とができます。

<http://nhk.jp/syumidoki>

※テキストと番組では、一部内容が異なることがあります。  
ご了承ください。  
※放送内容や放送日時などは、変更・休止することがあります。

### テキスト、バックナンバーの ご注文はこちら

[NHK出版お客様注文センター]

TEL 0570-000-321 (ナビダイヤル)

受付時間 午前9:30-午後5:30

土・日・祝日(年末年始を除く)もご注文を承って  
おります。

※IP電話などで上記の番号につながらない場合は、  
TEL 044-829-3650におかけください。

### テキストに関するお問い合わせ

[趣味どきっ! テキスト編集部]

TEL 0570-002-140

### 番組へのご意見、ご感想

[NHKふれあいセンター(放送)]

TEL 0570-066-066

※本誌に掲載した工房、民芸館、工芸館、喫茶店などに  
ついての情報は、P.143に掲載しています。

※本誌に掲載した民芸品は、取材時に販売されていたも  
のです。それぞれ一点ずつ作られたものですので、同  
じものが求められるとは限りません。